

学校出前講座

～おかやま子どもみらい塾～

岡山県文化連盟の構成員(正会員)

現在、様々な分野や地域で活動している芸術文化関係団体など116団体で構成されています。
(R8.1.31現在)

分野別県レベル文化団体 (25)

岡山県書道連盟/公益社団法人日本工芸会中国支部/岡山県合唱連盟/岡山県少年少女合唱連盟/岡山県吹奏楽連盟/
岡山県マーチングバンド協会/岡山県パト協会/岡山県オーケストラ連盟/岡山三曲協会/岡山県バレエ連盟/岡山県現
代舞踊連盟/公益社団法人日本舞踊協会岡山県支部/財団公認岡山県吟刺詩舞道総連盟/岡山県和太鼓連盟/岡山県詩
人協会/岡山県歌人会/岡山県俳人協会/岡山県川柳協会/岡山県華道連盟/日本将棋連盟岡山県支部連合会/岡山
県アマチュア囲碁連盟/岡山県茶道連盟/岡山県民謡民舞連盟/岡山県大正琴協会/岡山県かるた協会

市町村文化連盟・文化協会 (25)

西大寺文化連盟/倉敷市文化連盟/津山市文化連盟/玉野市文化協会/笠岡市文化連盟/井原市文化協会/総社市文化
協会/高梁市文化連盟/新見市文化連盟/備前市文化協会/瀬戸内市文化協会/あかいわ文化協会/赤磐市熊山文化
協会/真庭市文化連盟/美作市文化連盟/浅口市文化連盟/里庄町文化協会/矢掛町文化協会/鏡野町文化協会/勝央
町文化協会/奈義町文化協会/西粟倉村文化協会/久米南町文化協会/美咲町文化連合会/吉備中央町文化協会

文化振興団体等 (38)

公益財団法人大原芸術財団/公益財団法人倉敷民芸館/一般財団法人林原美術館/公益財団法人岡山県郷土文化財団
/公益財団法人岡山文化芸術創造/公益財団法人総社市文化振興財団/公益財団法人吉備路文学館/公益財団法人美作
学術文化振興財団/公益財団法人福武教育文化振興財団/公益財団法人新見美術振興財団/公益財団法人タカヤ文化財
団/公益財団法人倉敷市文化振興財団/公益財団法人津山文化振興財団/公益財団法人両備文化振興財団/公益財団
法人ワコースポーツ・文化振興財団/公益財団法人成羽町美術振興財団/公益財団法人マルセンスポーツ・文化振興財
団/公益財団法人真庭エスパス文化振興財団/一般財団法人備前市文化芸術振興財団/公益財団法人瀬戸内市歴史まち
づくり財団

岡山県陶芸同好会/岡山県エッセイストクラブ/岡山県演奏家協会/岡山トロンボーン協会/中国二期会/岡山県刻字協
会/岡山県ダンススポーツ連盟/全日本ピアノ指導者協会岡山支部/岡山交響楽団/公益財団法人日本太鼓財団岡山県支
部/一般社団法人みるを楽しむ!アートナビ岡山/一般社団法人健康マージャン岡山/せとうみ臨床美術の会/NPO 法人み
んなの劇場・おかやま/岡山県連句協会/社会福祉法人旭川荘/社会福祉法人なかよし会 なかよし保育園/日韓伝統文
化芸術交流協会

県・市町村 (28)

岡山県/岡山市/倉敷市/津山市/玉野市/笠岡市/井原市/総社市/高梁市/新見市/備前市/瀬戸内市/赤磐市/
真庭市/美作市/浅口市/和気町/早島町/里庄町/矢掛町/新庄村/鏡野町/勝央町/奈義町/西粟倉村/久米南町/
美咲町/吉備中央町

あなたも文化のサポーターに!

公益社団法人岡山県文化連盟は、県内の多彩な文化団体を「まとめ」「つなぎ」「のばす」唯一のネットワークとして、県内各地で展開される、
分野や世代を超えた活発な芸術活動を様々な形で支援しています。さらに、会員と協力して小中学生に本物の文化体験を提供する学校
出前講座を開催するなど、次代を担う子どもたちを心豊かに育てる文化芸術活動を展開しています。

賛助会員 募集

入会申込書を郵送、ファックス、メールいずれかの方法でお送りいただき、賛助会
費を下記口座へ振り込むか、事務所へご持参ください。
※賛助会費は、税制の優遇措置が受けられます。詳しくは、岡山県文化連盟のホームページをご覧ください。

【年会費】

個人—————1 □ 3,000 円～
団体・法人—————1 □ 10,000 円～

※規模や目的などに応じて複数回数のご支援がいただければ幸いです。

【振込先】

●中国銀行県庁支店 普通預金 1398537
公益社団法人岡山県文化連盟 会長 若林昭吾
(コウエキシャダンホウジンオカヤマケンブンカレンメイ カイチョウ ワカバヤシショウゴ)

●ゆうちょ銀行 01320-7-87480
公益社団法人岡山県文化連盟
(コウエキシャダンホウジンオカヤマケンブンカレンメイ)

公益社団法人岡山県文化連盟

〒700-0814 岡山市北区天神町 8-54 岡山県天神山文化プラザ 3 階
TEL : 086-234-2626 FAX : 086-234-8300
E-mail : bunkaren@o-bunren.jp URL : https://o-bunren.jp

令和8年度
文化人材バンク

学校出前講座

～おかやま子どもみらい塾～

利用校募集!!

申請書提出期限

令和8年5月12日(火)

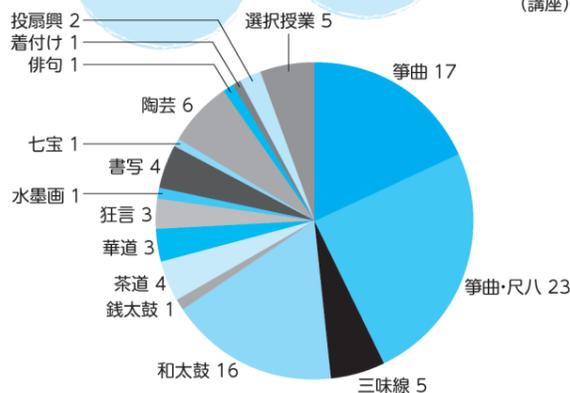
必着

主催:岡山県
(公社)岡山県文化連盟

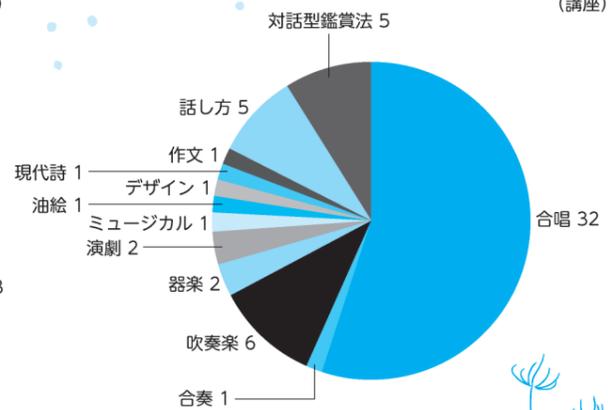
利用状況

※令和7年度の事業について、令和8年1月末の利用状況です。

R7 伝統文化系 全93講座



R7 一般文化芸術系 全58講座

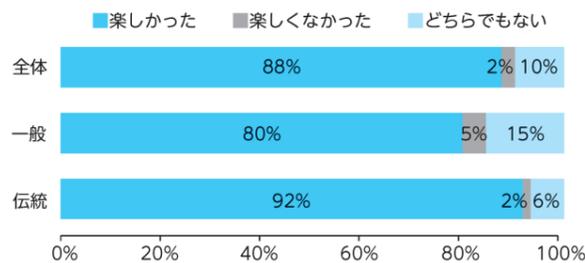


【アンケート結果】

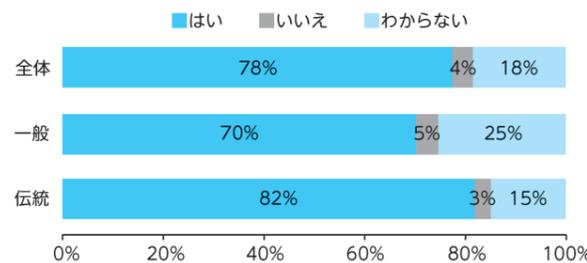
※令和6年度の事業についての集計結果です。

●児童・生徒向けアンケートから

講座は楽しかったですか？

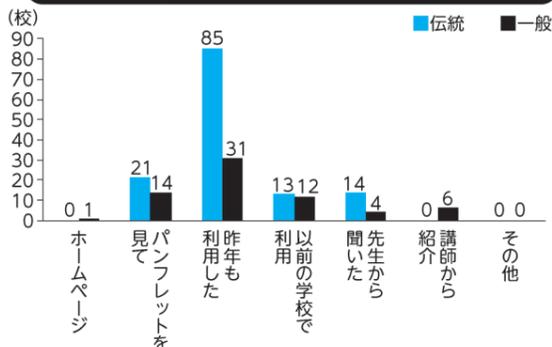


今回の講座をまたやってみたいと思いますか？

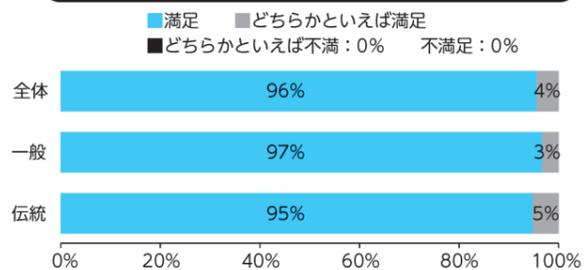


●教員向けアンケートから

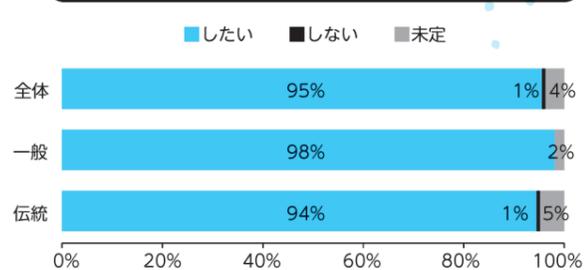
この講座を依頼されたきっかけは？



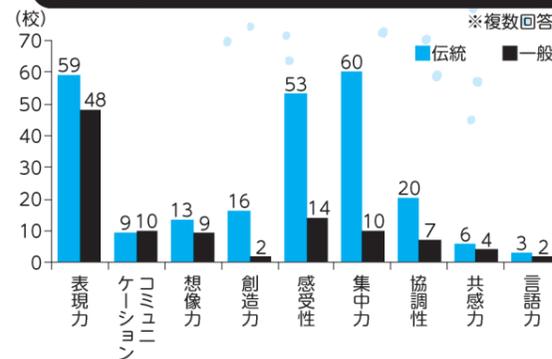
先生ご自身は講座の内容に



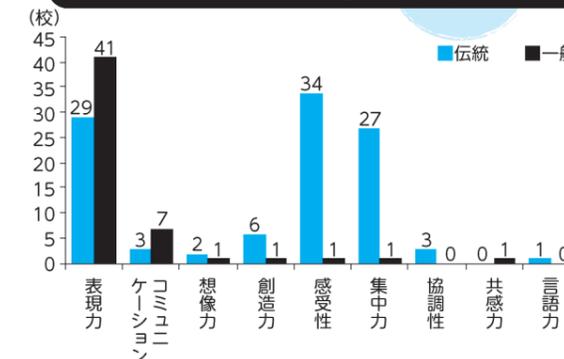
今後も「学校出前講座」を利用したいですか？



今回の取り組みにより、子どもたちにとって力がついたと思われる項目



最も力がついたと思われる項目



子どもたちの具体的な様子。先生方の自由回答から。

【表現力】

- ・書写で墨には触れているが、水で薄めて使うことで表現の幅がこんなにも広がることに驚き、描くことを楽しんでいた。にじむ様子もとても新鮮であったようだ。(水墨画)
- ・リズムを感じて身体を動かすなど、自分なりに表現する楽しさを見出すことができた。(現代舞踊)
- ・発信するときに「何を相手に伝えたいか」を意識することができた。また、相手にいやな思いをさせないかを考える大切さ、発信する責任・覚悟についても考えることができた。(映像)

【コミュニケーション能力】

- ・周りを感して息を合わせる、目で感じる、チームで声を出さずに課題を解決するなど、コミュニケーションや協調性を高める内容に取り組んだ。(演劇)
- ・生徒たちの多くは今までコミュニケーションに対して受け身だったが、会話のキャッチボールの大切さや明るい印象を持たせる工夫など、中学生が取り組みやすい内容を実践を含めて教えていただいた。(話し方)
- ・他人を理解するために個人々で試行錯誤している姿が印象的だった。対話型鑑賞法は生身の人間が関わるため、社交力が引き出される。(対話型鑑賞法)

【想像力】

- ・狂言の世界を楽しむには小道具を別のものに見立てたり、動きで場面を想像したりすることを学んだ。(狂言)
- ・歌詞の情景をイメージすることを通して、どんな工夫が必要なのか考えることができた。(合唱)
- ・表現の方法を例えを出しながら伝えてくださり(野球ボールを打つように等)、子どもはそれを想像しながら演奏しようとしていた。(合奏)

【創造力】

- ・銀箔を好きな形にデザインしたり、色を丁寧にのせたりすることで、創造力や集中力が向上した。(七宝)
- ・限られた花材を使い、何を中心にするか、その中心を際立たせるためにどうしたら良いかを考える、創造力をかき立てられる取り組みであった。(華道)
- ・五感をもとに表現すると味わい深い表現になると分かった。また、言葉で表現しようとしていたり、比喩表現を使ったりと、表現の方法を工夫する児童が増えた。(現代詩)

【感受性】

- ・実際の工程・手順で追体験することで、初めて知る浮世絵について興味をもって取り組み、版画の繊細な摺りの魅力に気付くことができた。(浮世絵)
- ・室町時代から伝わる伝統文化を体験し、実際にお茶をたてることで、日本文化に親しみをもてた児童も多く、茶道の奥深さについて興味をもっていた。(茶道)
- ・陶土に触れる機会はほとんどないため、触覚を強く意識できる貴重な体験になった。(陶芸)
- ・多くの韓国文化に触れ、華やかさを味わうことができた。(多文化理解)

【集中力】

- ・限られた体験の時間に「さくらさくら」を最後まで演奏できた。(箏曲)
- ・歌詞や言葉等に注目しながら歌うことで、集中力が養われた。(合唱)
- ・基礎・基本を身に付けることで表現の幅が広がり、さらに上手になりたいという向上心が集中力に結びついた。(吹奏楽)

【協調性】

- ・楽譜を一緒に読んであげたり、こうやったらできるのではとアドバイスをしたりしながら取り組んでいた。(箏曲・尺八)
- ・周りの音を聞き速さを合わせようと集中していることや、クラスで1つのものを創り上げようと互いに声をかけ合う姿が見られた。(和太鼓)

【共感力】

- ・講師のせりふや動きをまねすることで、みんなと一体になって表現することを楽しむことができた。(狂言)
- ・歌詞の意味に合うように工夫することや、作詞者の気持ちに共感して歌うことを学ぶことができた。(合唱)

【言語力】

- ・短い言葉のなかに、自分の感じたことや思いをこめる難しさを感じながら工夫して作句することができた。(俳句)
- ・歌うことを通じて言葉を大切にすることができた。(合唱)



文化芸術の優れた指導者を学校に派遣。 子どもたちに「本物の文化・芸術体験」を!!

【学校出前講座の特色】

岡山県文化連盟のネットワークを生かした“優れた講師陣”

*令和8年1月現在登録数 190名

10年超の事業実績に裏打ちされた“納得のクオリティ”

*令和7年度利用実績 県内21市町村、延べ28分野151件（令和8年1月末現在）
経験豊富なコーディネーターが、各校のご希望に応じた講座開催をお手伝いします。

講師派遣に係る学校側の“費用負担なし”

講師謝礼、交通費については、県からの委託と（公財）福武教育文化振興財団からの助成に基づき、文化連盟が負担します。但し、講座に係る実費（材料代等）は受益者（学校側）負担です。

例) 水墨画は和紙代、陶芸は土代+焼成代、茶道は抹茶代+菓子代、華道は花代+オアシス代 等

公益法人かつ県内唯一のネットワークを持つ当連盟ならではの“高い公益性と専門性”

公益法人として「次代を担う子どもたちを心豊かに育てる」というミッションを背負う我々だからこそ、パブリックで平等な学校教育という場において現場の先生方に寄り添い、文化・芸術に関する極めて専門性の高い部分について、授業の補完的役割を果たすことができるのです。

児童・生徒だけでなく、学校の先生、講師もそれぞれ“得をする”

実際に講座を受講する児童・生徒が貴重な体験をするのはもちろんですが、普段指導にあたる学校の先生方も専門家である講師のモデル授業と一緒に体験できますし、講師とT.T.授業を展開したり、先生方の研修にも活用したりするなど、今までとは異なるアプローチから子どもたちの文化力アップを図ることができます。また、専門家である講師も子どもたちとのふれあいによって刺激を受け、その後の文化芸術活動に生かすとともに、今の子どもたちの実情を知り、技術や伝統を次世代に伝えるためのヒントを得ているのです。

【応募資格】

岡山県内の公立小中学校等（原則として、保育園・幼稚園・高等学校、私立学校は対象になりません。）

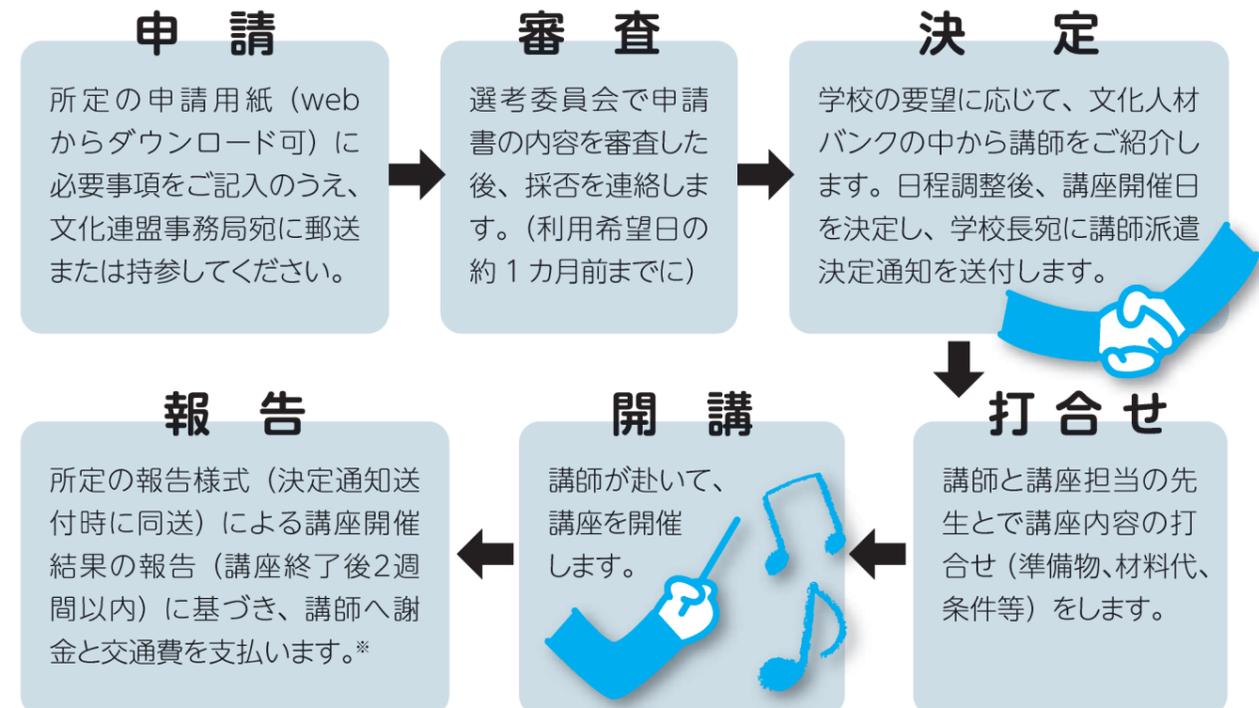
【対象期間】

令和8年6月1日(月)～令和9年2月28日(日)開催分まで
（報告書の提出は、講座終了後2週間以内です。）

【申請のルール】

- ①一校につき、1講座のみ申請できます。
*講座については【対象分野】をご参照ください。
- ②1講座当たりの利用時間は4時間（最大240分）、講師派遣回数は4回を上限とします。講座時間には事前の打合せや当日の準備、休憩、片付けの時間は含まれません。1時間は授業単位（小学校45分、中学校50分）を原則としますが、講座内容に応じて1時間を60分とする場合があります。但し、1回の講座時間が60分を超えるときは2時間相当とします。
例) 小学校の場合、45分×4回(全4回)、60分×2回+90分×1回(全3回)、90分×2回(全2回)等は利用可能。90分×2回+60分×1回(全3回、合計240分)は不可。
- ③組合せ講座（例：箏曲・尺八講座）や選択授業（例：室町文化体験）については、まとめて1講座として申請してください。
- ④希望する講師について、派遣を確約するものではありません。
- ⑤大規模校・小規模校については、申請前にご相談ください。

【申請手続きと事業の流れ】



*今後、定期的にアンケート調査を予定していますので、ご協力をお願いします。

【対象分野】

分野	部門	講座
音楽	洋楽	合奏、吹奏楽、オーケストラ、洋楽器
	邦楽	箏曲、尺八、三味線、鼓、地唄、和太鼓
	民謡	民謡、民舞、銭太鼓
	合唱	合唱、ボイストレーニング、指揮法
演劇		演劇、ミュージカル
舞踊		日本舞踊、民俗舞踊、バレエ、現代舞踊（ダンス）、新舞踊、フラメンコ
メディア芸術		映像、映画
伝統芸能		狂言
美術	絵画	デッサン、水彩画、油絵、日本画、水墨画、版画（リトグラフ）、抽象絵画、ガラス絵、テンペラ画、切り絵、浮世絵の摺り体験
	彫刻	彫刻（塑造・木彫）、各種素材による立体造形
	工芸	金工、木工、竹工、漆芸、染織、七宝、人形、陶芸
	書道	漢字、仮名、書写（毛筆・硬筆を含む）
	写真	風景、人物、昆虫
	デザイン	チラシ・ポスター、工業デザイン、空間デザイン、ブックデザイン
	作品鑑賞 芸術療法	対話型鑑賞法 臨床美術
文芸		現代詩、俳句、短歌、川柳、童話、エッセイ、作文
生活文化	茶道	裏千家、表千家
	華道	池坊、小原流、御室流、専敬流、草月流、末生流、龍生派 囲碁、将棋、着付け、かるた、投扇興、現代作法、表装
話し方		アナウンス、朗読、言葉遣い
多文化理解		民族衣装、あそび、国際協力
建築		模型ワークショップ、建築探訪、空間デザイン

掲載されていない講座についても相談に応じます。

【活用例】

- 音楽発表会や学習発表会に向けた合唱指導、合奏指導など
- 総合的な学習の時間における伝統文化体験（和太鼓、木工、漆芸、染織、七宝、陶芸、かるたなど）
- 小学校6年生社会科における室町文化体験（茶道・華道・水墨画・狂言の選択授業など）
- 音楽の授業における邦楽体験（箏曲、尺八、三味線、鼓など）
- 美術（図工）の授業における絵画鑑賞の手引き（学芸員による講義）など
- 部活動におけるレベルアップ（箏曲、アナウンスなど）
- 職場体験に向けて（現代作法、話し方など）
- 地域の特性を活かした授業（地域出身の詩人を顕彰し、現代詩の創作を行うなど）
- 多文化理解教育（NGOの活動紹介や民族衣装・遊び・生活習慣を体験するなど）
- 学校教員を対象とした板書指導（書道）、合唱指導（指揮法含む）、美術指導など

【申請書提出先】

公益社団法人 岡山県文化連盟事務局まで、郵送または持参してください。
〒700-0814 岡山市北区天神町 8-54 岡山県天神山文化プラザ 3 階

【実施事例】

七宝

講師：（公社）日本工芸会中国支部
実施校：岡山市内小学校 6年生 59名 90分×1回
目標：日本の伝統工芸の一つである七宝焼の歴史を知り、作品を鑑賞したり、実際に制作したりすることで日本文化のよさに気付かせるとともに、大切にしようとする態度を育てる。
内容：

- ・ 伝統工芸に対する理解と関心を促す。
- ・ ワークショップで七宝焼の作品を制作する。

【児童の感想】

・七宝焼の由来や歴史を教えてください、興味を持ちました。先生の作った美しい作品を見て感心しました。七宝焼は、皿・ペンダント・アクセサリーなど身の回りの物の中にいろいろあることを初めて知りました。
・初めての体験でしたが、先生方に親切に作り方を教えてください、いい作品ができました。卒業前にお母さんにプレゼントしますが、喜んでくれると思います。

【教師の感想】

七宝焼体験は初めてでしたが、どの子も楽しんで活動できていました。銀箔を乗せる時は、迷っている子や戸惑っている子も多かったのですが、講師の先生やボランティアの方にアドバイスをいただいて集中して取り組めていました。特に焼き上がった自分の作品を見たときは、美しさに感動の声があがりました。活動後はどの子も満足した様子でした。今回、心を込めて作った七宝焼を卒業時におうちの方に感謝の気持ちを込めて渡します。その時の感動のお手伝いをしてくださり本当に感謝しています。

【講師の感想】

・最初に七宝とは何か、また、その歴史について説明し、その後実技に移りました。あらかじめ下焼きしてきた銅板（胎）に各自が思い思いにデザインして切り取った銀箔を張り付け炉で焼成。取り出して冷やした胎に好きな色釉薬を塗って再度焼成。周囲をヤスリがけし、ストラップ用パーツをつけて、オンリーワンの出来上がりです。児童の柔軟なデザイン力と色彩感覚に、新鮮な驚きを覚えました。また、制作中も楽しそうで、目が生き生きしていたのが印象的でした。
・小学校高学年ということもあり、作品を作るということに何の心配もありませんでした。前もって作りたいデザインが決まっていたら、もう少し早く出来上がっていたかなと思うくらいで、出来上がった作品を見て、今度はもう少し大きいものに挑戦してみたいという意見もあり、とてもうれしく思いました。



現代詩

講師：岡山県詩人協会
実施校：赤磐市内小学校 6年生 25名 60分×2回
目標：郷土出身の詩人がふるさとの自然をたくさん詩に書いている。児童が詩の創作教室を受講することにより、詩の魅力や楽しさにふれ、詩や郷土の詩人についての理解を深める。

内容：[第1回]

- ・ 講師の作品紹介
- ・ 詩の作り方を教えていただいた後、実際の詩を創作

 [第2回] 子どもたちが創作した詩について、工夫できているところ、言葉のおもしろいところなど、いろいろなエピソードも交えながら楽しくご指導いただいた。

【児童の感想】

・私は詩を書くのが苦手でした。でも、講師の先生に教えてもらい、自分の詩をほめてもらって自信ができました。素直に書けばよいとか、自分だけの見方をしたらよいとかよく分かりました。前より詩を書くのが好きになりました。
・講師の先生が詩を書くコツをたくさん教えてくださいました。これからはいい詩が書けそうな気がします。みんなの詩を紹介しているときにいろいろおもしろい話をしてくださって楽しかったです。
・2日間詩の勉強をして、難しいと思っていた詩が楽しいものと思えてきました。また書いてみたいです。いい詩を書いて、この町に生まれたことに誇りを持ちたいです。

【教師の感想】

最初子どもたちは「詩を書くことは難しい」と考えて、頭で一生懸命言葉を探し出そうとしている感じでした。でも、「自分だけの言葉を使って素直に書けばいいんだよ」「見たままを絵が思い浮かぶように書くといいよ」という講師の先生の言葉で、子どもたちも肩の力が抜け、自由に楽しみながら創作活動に取り組むことができました。何より、全員の子どもの作品のよいところをしっかりとほめてくださったことは、子どもたちの意欲と自信につながりました。講師の先生のご指導を参考にさせていただき、詩が大好きな子どもたちを育てていけたらと思います。

【講師の感想】

詩2編をA4用紙に印刷して、内容、韻などについて話し、詩を書かせました。2回目の授業では、一作一作批評して、長所を中心に話をしました。一部宿題にしましたが、宿題で作った詩の方が出来がよかったです。理由はいろいろ考えましたが、子どもの作詩は、心の状況（やる気・意欲・心理状況）により、そのときどきで出来が違うのは当然のことだと思います。また、学校の先生方の熱心さも作用するのではないのでしょうか。